

現地調査報告

区間名称 M-1 南部: Lilongwe -Dedza, M-8: Balaka - Liwonde
M-3: Liwonde -Machinga -Zomba - Limbe - Blantyre
走行区間 : Lilongwe→Dedza→Balaka (187km)、 Balaka → Liwonde (35km)
Liwonde→Machinga→Zomba→Limbe→Blantyre (119km)
走行日時 : 2/27 8:00～11:00、 11:00～12:00、 12:00～15:00
調査団員 : 西嶋 國昭

走行所感: M-1 のこの区間は、Lilongwe よりほぼ南東に向かってモザンビークとの国境の町 Dedza に下りこの国境に沿って Ntcheu、Balaka までで、そこから M-8 に移り Liwonde まで、更に Liwonde より、M-3 に乗って、南下し、Machinga, Zomba, Namadzi, Limbe, Blantyre に至る道を走行した。この区間はいずれも2車線道路で、舗装された路面状況はよく、快適な走行が可能であった。Liwonde で Shire 川を渡る取水堰は、1965 年に竣工したもので、ゲートの一部は既に稼動しなくなっているが、橋としての機能は十分果たしている。Zomba 市は、緑豊かな、Malawi の古都で、その背面に聳える Zomba 高原からの展望はすばらしく、手軽に楽しめる、観光資源としても価値が高い。



M-1 の状況 路面は良好である。



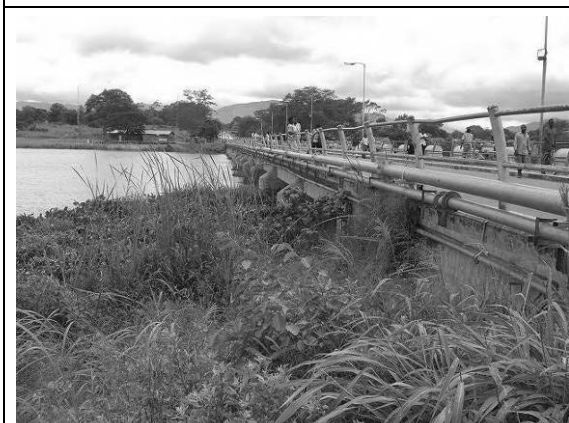
Nanjirt 川 (Lilongwe 川の支流) に掛かる橋右端に写っているアーチ橋は、旧橋。



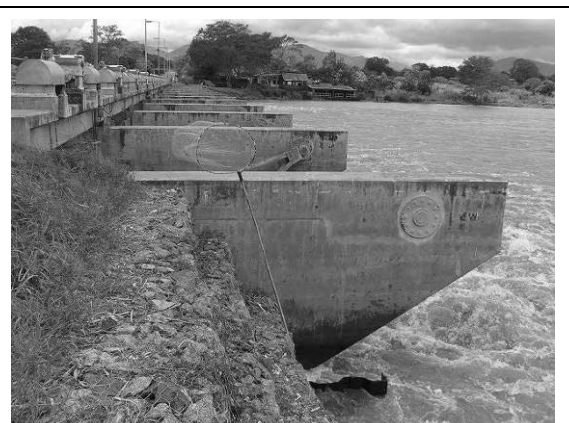
Ntcheu の街通過。



Liwonde の取水堰、上部は道路として使われている。



Liwonde の取水堰、上流側から見たところ。



同左、下流側の様子。テンターゲイトがスパンごとに設置されている。

	
<p>Zomba 山の上から Zomba の市街地を見下ろす、すばらしい景色。</p>	<p>Zomba を抜ける緑の多い道路、ユーカリの並木道。</p>

現地調査記録

区間名称 M-1 南部: Blantyre -Chikwawa -N'gabú -Bangula - Nsanje - Marka 、
 走行区間 : Blantyre → Chikwawa → N'gabú → Bangula → Nsanje → Marka
 走行日時 : 3/1 8:10~10:30、 10:30~12:40
 調査団員 : 西嶋 國昭

走行所感: M-1のこの区間は、Blantyre から最初は緩やかな上り道で、丘陵部を進むと、南部が開けてきて、Shire 川のつくる氾濫原が見渡せ、徐々に下って Chikwawa に至る。そこから、Shire 川の西岸を南下し Nchalo、N'gabú を経て Bangula の到着する。さらに Shire 川に沿って Nsanje、を経て国境の Marka に至る。Nchalo まではアスファルト舗装道だが、それ以南は砂利舗装となり、維持補修が適正になされているとは、いい難く路面が悪い箇所も多い。Nchalo-Bangula 間については既に EU の基金で定期補修が行われる予定が組まれている。



M-1: Chikwawa に下りる尾根道の道路状況。



同左の道からの Shire 川とそれつくる低湿地、湿原の眺め。



Ngabu の街を通過。



Bangla から Chiromo へ向かう道路、土堰堤。この先で流失している。渡し舟を待つ客で、賑わっている。



堰堤にはいくつもカルバートが設けられていて、通水するようになっているが、洪水時、これでは通水断面積が足りず、先端部で流失した。



対岸まで約 100m にわたって、堰堤が流失している。現在はこの間を渡し舟が、人、自転車等を運んでいる。

	
<p>土堰堤上の鉄道線路敷:長年使用していないので、草が生い茂っていて、レールも探さなくては見えない。</p>	<p>Bangula 以南の鉄道線路の状況:鉄道と道路が並行して南下しているが、線路は長期の運転中止で、完全に草に埋没している。</p>
	
<p>Bangla から Nsanje に掛けてもこの、M-1 沿いに、たくさんの人家が点在する。道は泥濘化している。</p>	<p>同左、Bangla～Nsanje 間、水溜まりが連続している。</p>
	
<p>モザンビークとの国境の尾根からいくつもの小河川が Shire 川に向かって流れ込み、これをコーズウェーで横断している。</p>	<p>同左、あるものは流下土砂で埋まってしまい、水溜まりとなっている。</p>

	
<p>Mankhokwe のマーケット、商品も豊富で人出も多く、賑わっている。</p>	<p>この国最南端の Marka:モザンビークとの国境の事務所。通過交通は、7~8 台/日とのこと。</p>

現地調査記録

区間名称 S-152:Chikwawa-〈East Bank Road〉-Chiromo
S151:Muona - Thekerani - Mpembere - Malamulo -Thyolo
M-2:Thyolo -Limbe

走行区間 : Chikwawa-〈East Bank Road〉-Chiromo(67km)、
Muona →Thekerani →Mpembere→Thyolo(70km)
Thyolo →Limbe →Blantyre (40km)

走行日時 : 3/2 9:10~11:30、 13:20~15:30、 15:30~16:20

調査団員 : 西嶋 國昭

走行所感: S-152: Shire 川東岸道路は、Chikwawa の手前より、M-1 より分岐し、Shire 川の氾濫原の東縁を南東に向かって下る道路で、左側に Thyolo の山塊の裾野が迫っており、平坦な土地ではあるが、小さな谷川がいくつも Shire 川がつくる湿地に流れ込んでいる。これを横断する部分はコーズウェイとなっていて、いくつもの流れをわたった。また部分的には、湿地が広がって、道路は水没して、いるため、付近の住人に聞き、確かめながら走行した。



Mwanpanzi 橋、1 車線。



Shire 川東岸道路途中に古いブルドーザーが放置。



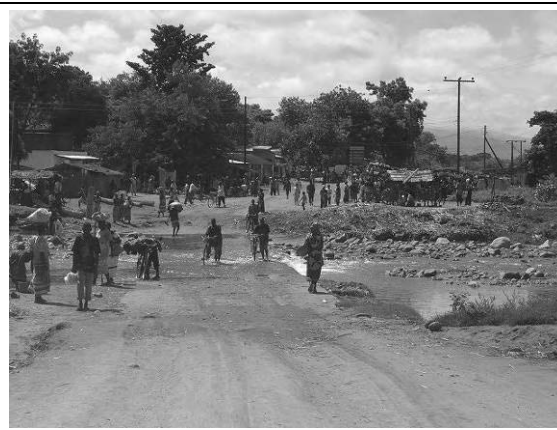
コーズウェー。



コーズウェー。



前ページコーズウェーの下流側左岸から見て。



Nkhate の街の手前のコーズウェー。



コーズウェー、格好の水浴び場所となっている。






コーズウェー、1つ沢が違くと、全く乾いている。



土砂で、埋まってしまったコーズウェー。



両側の水位が上がって水のなかを行く道。

	
<p>途中道路が完全に水没している区間延長約150mにわたって水深30~50cmあった。</p>	<p>Chiromo 道路、鉄道併用橋：橋自体は古いが、構造的にはしっかりしている。</p>
	
<p>鉄道の堰堤と線路、右が上流側、下流側に道路の堰堤があるが、大部分が水没している。</p>	<p>流失箇所をわたす、渡り舟。多くの人に利用されている。</p>
	
<p>Thyoro 山系を行く S151 からの Mulangje 山(南部アフリカで最高峰)の眺め。</p>	<p>S151 の北側部、両側に広がるお茶のプランテーション。延々と広がっている。</p>